

# 学区社会福祉協議会 (学区社協)って？

学区社会福祉協議会（通称、学区社協）は、住民が主体となって地域に根ざした福祉のまちづくりに取り組む団体です。

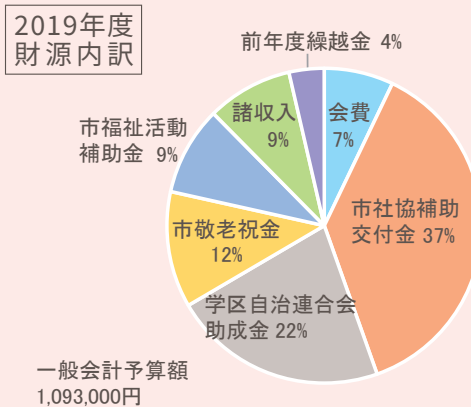
大津市では、小学校区ごとに36学区社協が自治会をはじめとする各種団体と協力し合って組織をつくり「このまちに住んでよかった」と思える福祉のまちづくりを進めています。

## 学区社協6つの取り組み

- ふれあう** ふれあいサロン、ふれあい給食サービス、敬老事業、寺子屋プロジェクトなど
- 学ぶ** 福祉のまちづくり講座、地域福祉講座など
- 支える** 学区ボランティアグループやふれあいサロンの支援など
- 見守る** 見守りや声かけ活動、助け合い活動など
- 知らせる** 学区社協広報誌の発行など
- 募る** 会費・賛助会費・共同募金など

## 財源について

学区社会福祉協議会の主な財源は、自治会を通じてお願いしているみなさまからの「会費」や「共同募金」のほか、市社協からの事業助成金などです。今回ご紹介している地域の実情に応じた福祉活動を推進するためには、自主財源である会費がとても大切となります。みなさまのご理解とご協力をお願いします。



# 伊香立学区社協の活動

## 学区社協の主な事業

- ・高齢者給食サービス事業
- ・町内ふれあいサロンの開催と運営への支援
- ・学区戦没者慰霊法要
- ・公民館や各種団体との共催事業
- ・学区社協広報誌「いかだち福祉の広場」発行

## 高齢者給食サービス事業

地域のひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯を対象に、皆さんの健康増進と、見守り活動として月1回の配食を実施しています。10月～5月は温もりのある「手作りお弁当」、6月～9月は「お昼のお楽しみ軽食」をお届けしています。この事業は、健康推進員、民生委員児童委員、福祉委員、ボランティアグループやまゆり、更生保護女性会の皆さん等による実施委員会で行っています。



## 伊香立学区戦没者慰霊法要

先の大戦で尊い命を亡くされた当学区内の176柱の御霊（みたま）に対して、毎年9月に学区慰霊法要を遺族会の皆さんのご参加のもと、学区内の全僧侶のご協力により執り行っています。

今日の平和と繁栄は尊い犠牲の上に築かれたことを忘れず平和の大切さを後世に繋いでいかねばなりません。既に終戦から74年の歳月を経た本年も、本慰霊法要の挙行により多くの御霊の安らかならんことをお祈りするものです。



## 27の社協構成機関・団体



上記27の諸機関・諸団体による連携のもと、わがまちが住みよいまちとなるよう、一人ひとりが主体のまちづくりを進めています。

## 町内ふれあいサロン

高齢者の閉じこもりや孤立を防ぎ、健康で明るい生活を送っていただくための一助として始まったふれあいサロンは、身近なところで楽しくふれあい交流できる場として定着し、なくてはならない活動になっています。

その運営は、福祉委員や民生委員児童委員を中心に有志の人たちも加わって行われていますが、各町によって、開催回数や時間、内容も異なり、それぞれスタッフの持ち味を生かした活動が進められています。



## 広報

伊香立学区の社協の取り組みについて皆さんに少しでも知って頂けるよう、広報誌「いかだち福祉の広場」を毎年3月15日に発行しています。

伊香立の風景、実施事業、福祉委員会活動、各町サロンの紹介の他、トピックスとなる記事や、伊香立学区社協を構成する27の諸機関・諸団体を2組ずつ紹介するなど、親しみもてる内容に努めています。



## 期待される福祉委員の活動

福祉委員  
って？

福祉委員の活動は、学区社協・自治会・民生委員児童委員・地域ボランティアと共に、住みよい福祉のまちづくりを進めるため身近な地域の見守り、声掛け、支え合い、助け合い活動を行います。

### 伊香立学区の取り組み

伊香立学区では、市社協の働きかけを受けて、平成5年4月1日から施行した「伊香立学区社会福祉協議会規約」の中に、各自治会から選出された福祉委員をもって福祉委員会を設ける旨の規定を設けましたが、その位置づけと福祉委員に対する学区社協の取り組みが消極的であったことから、これまで、その機能が十分に発揮されずにきました。

そこで、平成29年度に見直しを行い、平成30年度の総会において、福祉委員及び同委員会の規定を補足改正し、福祉委員の位置づけ、機能等などについて再認識を促しました。5月には福祉委員会を発足させ、福祉委員としての活動の充実と福祉委員同士の横のつながりによる福祉委員会活動の推進を図ろうということで、現在、15名の委員が学区社協の担い手として、地域福祉活動に取り組んでいます。



視察研修／山中比叡平にて

### ステップアップを目指して

福祉委員会では地域の福祉活動への視野を広め、活動への意欲を養うための研修を行っています。また、委員同士の情報の共有や顔の見える関係づくりを進めるため、一人ひとりが積極的な姿勢で取り組んでいます。

- ・年2回の自主研修会の開催
- ・参考となる多種研修会への参加
- ・民生委員児童委員との合同研修
- ・随時の福祉委員会議の開催 など

### 自治会でそして学区内で

福祉委員は身近な生活の場である自治会での活動として、近所での心配ごとや困りごとなどを見つけたら、民生委員児童委員や自治会役員などに連絡・相談をします。また、ふれあいサロンの運営に参画、小学生のスクールガードに参加なども主な活動です。学区内活動としては、高齢者給食サービス事業への参画、街頭募金活動への協力、その他福祉活動への参加・協力などです。

連絡先

伊香立学区社会福祉協議会 大津市伊香立生津町1-3-1 (市民センター内)  
社会福祉法人大津市社会福祉協議会 大津市浜大津4-1-1 明日都浜大津5階 Tel 526-5336



# 伊香立学区 社協です

#### 目標

素朴なぬくもりが感じ合える  
ふるさつをつくる。

#### スローガン

- ・出会えば必ず、あいさつをしよう。
- ・おとしよりや子どもを大切にしよう。
- ・全員参加のまちづくりを進めよう。

#### 取り組みの基本

豊かな自然に恵まれた伊香立ではあるけれど

1. 子どもが少ない
2. おとしよりの交通手段が乏しい
3. 若者と、おとしよりが同居する世帯がどんどん少なくなっていく
4. 少子高齢化が進む旧集落と若い世帯が急増する新興住宅地

等々課題が多い中でその現実をしっかりと見つけ、住民が知恵を出し合って、人と人とのつながりを大切に、一步一步着実に前に進もうとしているまち。

私たちの  
まち

### 伊香立学区の数字



<b>人口</b>  大津市 343,823人 伊香立学区 2,674人	<b>世帯数</b>  大津市 150,040世帯 伊香立学区 1,105世帯	<b>自治会加入世帯(戸数)</b> 自治会数 10自治会 加入戸数 640戸 (山百合の丘を除く)	<b>子どもの人口・割合 (15歳未満)</b>  378人 14.1%
<b>高齢者人口・割合 (65歳以上)</b>  864人 32.3%	<b>高齢者人口・割合 (75歳以上)</b>  441人 16.4%	<b>生産年齢人口・割合 (15歳～64歳)</b>  1,432人 53.5%	<b>要介護者認定数</b> 133人 <b>対65歳以上人口割合</b> 15.3%

2019年11月1日現在  
要介護者数は7月末現在

伊香立学区社会福祉協議会

2020年2月発行